



やまの



校長 小泉 一弘

URL <http://school.setagaya.ed.jp/yano/>

令和8年度のスタートにあたって

校長 小泉 一弘

3月末の休日、満開に近付いた桜の花を少しゆっくり眺めながら春の感触を味わいたいと思い、数時間の散歩をしました。花見客で賑わう多摩川の川岸や付近の公園を歩いている中で、とても印象に残る光景を何度か目にしました。それは、小学校の入学式に向けた「前撮り」をしているご家族の姿です。入学式のために準備したと思われる洋服を着て、ピカピカのランドセルを背負った子どもたちの笑顔は、どこか誇らしげでもありました。また、その姿を撮影するご家族の姿からは、「幸せ」というオーラが放たれているようでした。小学校入学という機会は、本当に大きな出来事なのだなどと改めて感じさせられた瞬間でした。同時に、学校が担う責任の重さに身が引き締まる思いを抱きました。令和8年度も山野小学校の教育活動をさらに充実させられるよう、鋭意尽力いたします。どうぞよろしく願いいたします。

本日、新たに元気な1年生141名を迎え、全校児童958名、32学級で令和8年度の学校生活がスタートしました。保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。子どもたち一人一人の健やかな成長を支えることができるよう、教職員全員が一丸となって子どもたちに寄り添い、共に歩んでいきたいと思えます。

昨年度より児童数・学級数が減少したものの、本校が区内屈指の大規模校であることに変わりはありません。本年度も、「たくさんの出会いがある」という大規模校のメリットを生かし、人とかかわりを重視した教育活動を進めていく所存です。人とかかわる中で自分とは違う様々な個性があることを知り、理解し、認め合うことは、簡単なことではないかもしれません。一つの出会いから新たな喜びや楽しさが生まれることもあれば、不安が生じることも時にはあるでしょう。子どもたちの学校生活の中では、友達とのトラブルが起きることも珍しいことではありません。誰にとっても、不安やトラブルはうれしいことではありません。しかし、それらを乗り越える過程でこそ、課題解決力や思いやりの心が育ちます。また、コミュニケーション能力の伸長や自己肯定感の醸成も期待できます。

本年度も、「誰にでも居場所がある学校」を目指す学校像として設定しました。子どもたち一人一人が安心して学校生活を送り、「この学校にいてよかったな。」と思えるような学校にできるように努めます。保護者の皆様、地域の皆様から温かいご支援とご協力をいただければ幸いです。本年度もどうぞよろしく願いいたします。